

淀川水系流域委員会

平成25年度進捲点検結果説明資料 【維持管理(桂川)】

平成27年1月27日

近畿地方整備局

平成26年度 第2回淀川水系流域委員会 説明資料【維持管理(桂川)】

	点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
1	河川管理施設	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況	堤防・ダム・護岸の健康診断内容・補修箇所数	有り	P.318
2			ダム機能の維持内容・堆砂量	有り	P.327
3	許可工作物	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導状況	点検、修繕内容・実施数	有り	P.333
4	河川区域等の管理	河川区域等の管理状況	河道内樹木の伐採内容・伐採面積	有り	P.339
5			堆積土砂の除去内容・掘削量	有り	P.343
6			ゴミの不法投棄の状況及び処分内容・処理量	有り (河川環境と重複)	P.345

河川管理施設

【観点】堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況

「指標」堤防・ダム・護岸の健康診断内容・補修箇所数

【河川管理施設の点検事例】

【淀川河川事務所】



破損状況(H25点検時)



H25点検状況



補修完了後

【日吉ダムの点検事例】



継目排水孔からの漏水量の計測



世木ダム堤体の変位計測



貯水池巡視状況

No.	調査対象(現地踏査箇所)	確認項目	その他の記入
1	浮遊地盤	その他特記すべき事項	
2	コンクリート表面入り口		
3	外周部地盤		
4	日吉東側通水口		
5	日吉東側通水口		
6	日吉西側通水口		
7	通水口		
8	コンクリート等		
9	排水溝等		
10	排水溝等(ヘーベル式)		
11	排水溝等		
12	排水溝等(ヘーベル式)		
13	排水溝等(ヘーベル式)		
14	排水溝等(ヘーベル式)		
15	排水溝等(ヘーベル式)		
16	排水溝等(ヘーベル式)		
17	排水溝等		
18	コンクリート等(現地)		
19	排水溝等(現地)		
20	ゲート室等(現地)		
21	ゲート室等(現地)		
22	ゲート室等(現地)		
23	ゲート室等(現地)		
24	ゲート室等(現地)		

巡回チェックシート

日吉ダムでは
補修箇所無し

河川管理施設

【観点】堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況

「指標」堤防・ダム・護岸の健康診断内容・補修箇所数

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度に、点検・巡視等により確認された変状確認箇所の数と補修実施箇所数を以下に示す。</p> <p>①堤防の点検結果 平成25年度は、要補修箇所が13箇所あり、その内8箇所の補修を実施した。</p> <p>②護岸の点検結果 平成25年度は、要補修箇所が38箇所あり、その内7箇所の補修を実施した。</p> <p>③堰、水門、樋門、閘門、陸閘、揚排水機場、床止め(土木設備)の点検結果 平成25年度は、要補修箇所が3箇所あり、その内0箇所の補修を実施した。</p> <p>④ダムの点検結果 平成25年度は、要補修箇所が4箇所あり、その内3箇所の補修を実施した。 これらの箇所数はいずれも、天ヶ瀬ダムのもので、ダム建設後30年以上が経過したダムを対象に行う事となった「総合点検」を平成25年に実施した結果、挙げられた数となっている。</p> <p>⑤機械・電気設備の点検結果 平成25年度は、要補修箇所が6箇所あり、その内1箇所の補修を実施した。</p>	<p>河川維持管理計画(案)に基づき日常の維持管理が実施されている。</p> <p>河川管理施設の老朽化等から要補修箇所数が増加する傾向にあるが、損傷の規模や緊急性等を考慮し、補修を実施している。</p> <p>引き続き、日常の河川巡視や点検において継続的な監視を行い、河川管理上の影響が出るおそれがあると判断された箇所については優先的に補修を実施し適正な維持管理に努めていく。</p>

河川管理施設

【観点】堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施状況

「指標」ダム機能の維持内容・堆砂量

進捗状況	点検結果																																																																																							
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度までの実績堆砂率について以下に示す。</p> <p>高山ダム67% 青蓮寺ダム57% 室生ダム27% 布目ダム29%</p> <p>比奈知ダム40% 一庫ダム36% 日吉ダム20% 天ヶ瀬ダム 80%</p> <table border="1"> <caption>平成25年度までの実績堆砂率</caption> <thead> <tr> <th>ダム名</th> <th>完成年</th> <th>経過年数</th> <th>堆砂率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高山ダム</td> <td>1969</td> <td>45年</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>青蓮寺ダム</td> <td>1970</td> <td>44年</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>室生ダム</td> <td>1974</td> <td>40年</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>布目ダム</td> <td>1990</td> <td>24年</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>比奈知ダム</td> <td>1997</td> <td>17年</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>一庫ダム</td> <td>1982</td> <td>32年</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>日吉ダム</td> <td>1997</td> <td>17年</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>天ヶ瀬ダム</td> <td>1964</td> <td>50年</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> <p>日吉ダムでは、計画堆砂量8,000千m³のうち、平成25年度末の堆砂量は約1,620,000m³である。</p> <table border="1"> <caption>日吉ダム</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>堆砂量 (千m³)</th> <th>目安堆砂量 (千m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成10年度</td> <td>950</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成11年度</td> <td>1000</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>平成12年度</td> <td>1150</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>700</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>平成14年度</td> <td>750</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>平成15年度</td> <td>800</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>平成16年度</td> <td>850</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>850</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>900</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>850</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>850</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>1000</td> <td>1100</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>950</td> <td>1200</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1050</td> <td>1300</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>1100</td> <td>1400</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1650</td> <td>1300</td> </tr> </tbody> </table>	ダム名	完成年	経過年数	堆砂率 (%)	高山ダム	1969	45年	67	青蓮寺ダム	1970	44年	57	室生ダム	1974	40年	27	布目ダム	1990	24年	29	比奈知ダム	1997	17年	40	一庫ダム	1982	32年	36	日吉ダム	1997	17年	20	天ヶ瀬ダム	1964	50年	80	年度	堆砂量 (千m ³)	目安堆砂量 (千m ³)	平成10年度	950	100	平成11年度	1000	200	平成12年度	1150	300	平成13年度	700	350	平成14年度	750	400	平成15年度	800	500	平成16年度	850	600	平成17年度	850	700	平成18年度	900	800	平成19年度	850	900	平成20年度	850	1000	平成21年度	1000	1100	平成22年度	950	1200	平成23年度	1050	1300	平成24年度	1100	1400	平成25年度	1650	1300	<p>堆砂量については、今後も継続的に監視を行う。</p> <p>引き続きダム機能の維持のため排砂の検討を行っていく。</p> <p>特に木津川上流ダム群については、引き続きアセットマネジメントの検討により、より効率的な堆砂処理を行い、ダムの延命に努める。</p>
ダム名	完成年	経過年数	堆砂率 (%)																																																																																					
高山ダム	1969	45年	67																																																																																					
青蓮寺ダム	1970	44年	57																																																																																					
室生ダム	1974	40年	27																																																																																					
布目ダム	1990	24年	29																																																																																					
比奈知ダム	1997	17年	40																																																																																					
一庫ダム	1982	32年	36																																																																																					
日吉ダム	1997	17年	20																																																																																					
天ヶ瀬ダム	1964	50年	80																																																																																					
年度	堆砂量 (千m ³)	目安堆砂量 (千m ³)																																																																																						
平成10年度	950	100																																																																																						
平成11年度	1000	200																																																																																						
平成12年度	1150	300																																																																																						
平成13年度	700	350																																																																																						
平成14年度	750	400																																																																																						
平成15年度	800	500																																																																																						
平成16年度	850	600																																																																																						
平成17年度	850	700																																																																																						
平成18年度	900	800																																																																																						
平成19年度	850	900																																																																																						
平成20年度	850	1000																																																																																						
平成21年度	1000	1100																																																																																						
平成22年度	950	1200																																																																																						
平成23年度	1050	1300																																																																																						
平成24年度	1100	1400																																																																																						
平成25年度	1650	1300																																																																																						

許可工作物

【観点】許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導状況

「指標」点検、修繕内容・実施数

【許可工作物の点検事例】

【淀川河川事務所】

羽束師橋(桂川5.4k付近 管理者:京都市)の人道橋高欄取り付け部にクラックがあり、コンクリートで充填施工された。



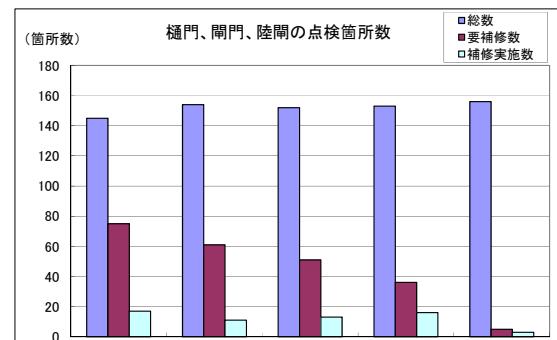
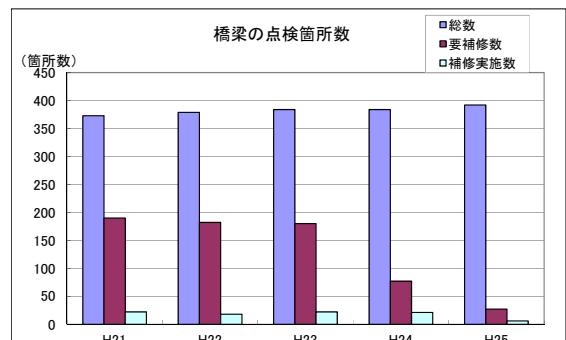
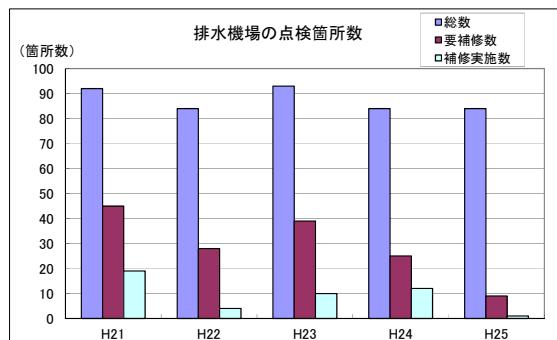
進捗状況

(平成25年度の取組)

①排水機場等の点検結果
平成25年度 要補修数 9箇所
補修実施数 1箇所

②橋梁の点検結果
平成25年度 要補修数 27箇所
補修実施数 6箇所

③樋門、閘門、陸閘の点検結果
平成25年度 要補修数 5箇所
補修実施数 3箇所



点検結果

重要な許可工作物については、機能を維持する必要な補修が行われているが、継続監視及び補修検討中のものは未補修箇所となっている。未補修箇所については、今後も定期的な補修などの対応を適切に行いうよう施設管理者を指導していく。

河川区域等の管理

【観点】河川区域等の管理状況

「指標」河道内樹木の伐採内容・伐採面積

【河道内樹木伐採、無償提供の事例】

【淀川河川事務所】

河道内樹木については、地域の景観や生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した上で、河川維持管理計画に基づき計画的に伐採を実施しており、平成25年度は623,900m²の伐木を実施した。

また、伐採した樹木を資源リサイクルの観点から、希望者を募り無償で提供することでリサイクルを促進する社会的実験と位置付け実施。HPにて周知している。

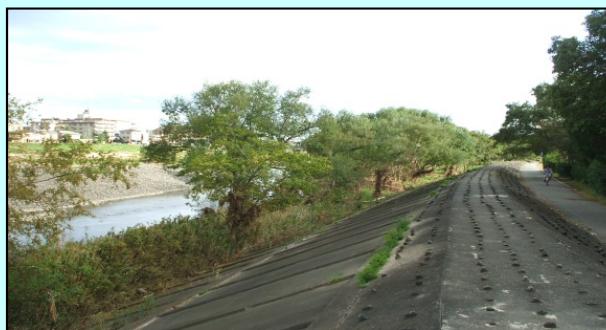
伐採樹木 無料配布公表HP

http://www.yodogawa.kkr.mlit.go.jp/news/2012/tree_hirakata/index.html

京都市久世築山町地先 桂川9.0k付近 中州 着手前



京都市嵐山朝日町地先 桂川16.0k付近 右岸 着手前



京都市久世築山町地先 桂川9.0k付近 中州 完成



京都市嵐山朝日町地先 桂川16.0k付近 右岸 完成



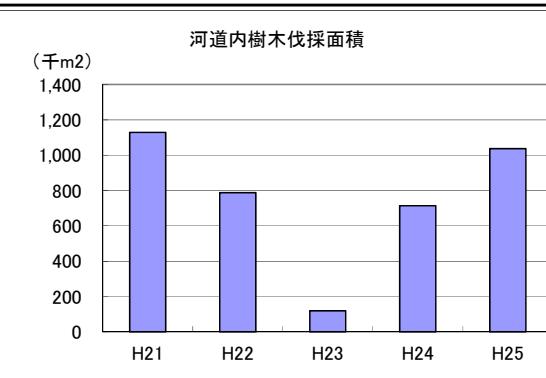
進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度については、約1,040,000m²の河道内樹木の伐採を実施した。

これにより、平成25年度末の樹林化面積は約1,720,000m²となっている。

なお、伐採した樹木については、一般の方へ無償配布を行っている。



点検結果

樹木伐採については、改修事業と併せて、水害や河川利用者への危険性の高い箇所や管理上支障になる箇所を対象に計画的に実施している。

今後も、河道内樹木の状況を確認し計画的に樹木伐採を行っていく。

河川区域等の管理

【観点】河川区域等の管理状況

「指標」堆積土砂の除去内容・掘削量

【堆積土砂の除去事例】

【淀川河川事務所】

桂川の桂橋上流において、平成25年台風18号により堆積した土砂の除去を実施した。



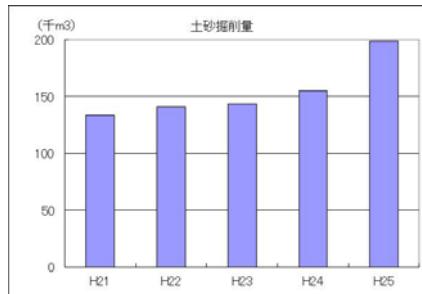
進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度については、砂利採取として約125,000m³の堆積土砂の掘削を実施した。

また、淀川本川(高槻市大塚地先)、桂川(京都市西京区桂御園地先)、野洲川(野洲市野洲地先)等、約74,000m³の堆積土砂の掘削を実施した。淀川本川については、航路確保を目的としており、河川外へ持ち出すこと無く浚渫を実施した。

なお、樋門操作の支障になる箇所や砂州がつき始めている箇所などについては巡視などにより確認され次第、維持作業等により対応をしている。



点検結果

河道内堆積土砂の除去については、引き続き定期的及び大きな洪水後に河床変動や河川管理施設、船舶の航行等への影響及び河川環境への影響等から判断し、実施にあたっては、住民・住民団体(NPO等)、学識者の意見も聴き、生物の生息・生育・繁殖環境に配慮して実施する。

河川区域等の管理

【観点】河川区域等の管理状況

「指標」ゴミの不法投棄の状況及び処分内容・処理量(河川環境と指標が重複)

【不法投棄の処分事例】

【淀川河川事務所】

平成25年は17,811m³のゴミの処分を行っており、あわせて277箇所に警告看板を設置している。



不法投棄処分前

吉祥院嶋
笠井町



不法投棄処分後



警告看板設置(桂川左岸15k付近)



警告看板設置(桂川右岸15.8k付近)

河川区域等の管理

【観点】河川区域等の管理状況

「指標」ゴミの不法投棄の状況及び処分内容・処理量(河川環境と指標が重複)

進捗状況	点検結果																																												
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度において、河川管理行為として実施したゴミ処理の量は、約18,990m³であり、台風18号関係のゴミ処理で多くなっている。また、延べ(H20～H25) 約34,800m³である。</p> <table border="1"> <caption>複合グラフ：ゴミの処理量と啓発活動回数（H21～H25）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ゴミの処理量 (m³)</th> <th>啓発活動回数 (回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>4,000</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>2,000</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,500</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>4,000</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>18,990</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>柱グラフ：不法投棄警告看板の設置数（累計）（H21～H25）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置箇所数 (箇所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>370</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>点検項目「多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承」の[指標]河川景観を損ねている不法工作物の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止状況と重複掲載</p>	年度	ゴミの処理量 (m³)	啓発活動回数 (回)	H21	4,000	85	H22	2,000	75	H23	2,500	65	H24	4,000	70	H25	18,990	95	年度	設置箇所数 (箇所)	H21	320	H22	370	H23	680	H24	680	H25	700	<p>平成25年度には、不法投棄を警告するための看板を22箇所に設置し、1箇所の看板を撤去した。延べ(H20～H25) 702箇所となる。</p> <p>設置箇所数(累計)(更新を含む)について以下に示す。</p> <table border="1"> <caption>柱グラフ：空間監視用CCTVの設置台数（累計）（～H20～H25）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置台数 (台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H20</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成25年度には、不法投棄の抑止効果にもつながる空間監視用CCTVを26台設置し、平成25年度現在で157台存在する</p>	年度	設置台数 (台)	～H20	120	H21	130	H22	130	H23	130	H24	130	H25	160
年度	ゴミの処理量 (m³)	啓発活動回数 (回)																																											
H21	4,000	85																																											
H22	2,000	75																																											
H23	2,500	65																																											
H24	4,000	70																																											
H25	18,990	95																																											
年度	設置箇所数 (箇所)																																												
H21	320																																												
H22	370																																												
H23	680																																												
H24	680																																												
H25	700																																												
年度	設置台数 (台)																																												
～H20	120																																												
H21	130																																												
H22	130																																												
H23	130																																												
H24	130																																												
H25	160																																												